

## はじめに

21 世紀を迎えた今、どの国にとっても教育は従来にも増して重要になってきた。教育の成功が、国の盛衰と直接的に結びつくと予想されるからである。この辺の事情は、イギリス政府が出した教育白書の一節に的確に表現されている。

21 世紀の成功のために我々が準備しなければならないとするならば、それは単に読み・書き・数のスキルを向上する以上のものがなければならない。全ての子どもの才能を認め、さらに全ての子どもが持っている卓越性を開花できる、幅広く柔軟な教育、さらには動機づけを高める教育が必要である(White Paper; Excellence in Schools, 1997)。

創造性教育は卓越性や動機づけを保証する教育の一方法である。イギリスでは教育白書の趣旨に沿って、「創造性と文化の教育に関する国家勸告委員会」が結成され、242 ページに及ぶ答申が出されている(All Our Futures: Creativity, Culture and Education, 1999)。そして、小学校の教育段階からの創造性の教育が開始されている。

わが国においても、21 世紀の社会を生き抜く力をつけるための教育が始まった。その中心には、新たに設けられた「総合的学習の時間」がある。この時間を中心に「生きる力」、すなわち「いかに社会が変化しようとも、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」の育成を目指している。「生きる力」は「創造性」と重なるものであろうか。上の定義どおりに、高いレベルの生きる力を考えた場合には、それは創造性と重なるであろう。というのは、数十億人の人類が、有限なこの地球で何とか生き延びているのは、人のもつ創造性のたまものであると推察できるからである。

理想とは裏腹に、生きる力の育成を目指した実践の場では、高い目標である創造性の育成にまではたどりついていないというのが実情である。というよりも、教科書が 3 割薄くなり、基礎学力の低下が憂慮される中で、実践の場の関心はもっぱら基礎基本の徹底へと向かい始めた。確かに基礎基本は重要である。これを欠くと創造性の育成もおぼつかない。しかしながら、一斉画一授業が中心の日本の学校の中では、どれほど時間をかけて基礎基本を徹底したところで、未来に向かっての「創り」である創造性は育たない。むしろ、創造性を育てるというスタンスに立って基礎基本を徹底した方が、21 世紀を生き生きと生きることのできる子どもが育つであろう。

今地球は危機に立たされている。温暖化の問題である。台風やハリケーンの頻発、集中豪雨と乾燥地域の拡大の中で、すでにその兆候が現実のものとなっている。温暖化は異常気象を引き起こし、さらに潮位の急激な上昇にもつながる。それはサンゴ礁等に存在する国の消滅を意味する。加えて異常気象は食糧危機も引き起こす。またエネルギー問題も深刻である。中国やインド等の人口の多い国が急に近代化しつつある。自動車燃料も含めて、各種のエネルギー問題の解決が緊急課題になりつつある。イラク紛争にみられるように、宗教をバックグラウンドに持つ文明の衝突もある。さらに一人ひとりの子どもが自己の存在

を意味あるものとして受け取って、豊かな人生を生きることのできる個人および社会の実現の問題もある。

これらの様々な問題は従来どおりの解決法では、解決が難しい問題ばかりである。そこには新たな観点からの創造的問題解決が必要になる。創造性教育が必要とされるゆえんである。

この本は、世界の教育改革の潮流の中で、各国が創造性教育にどのように取り組んでいるのかを明らかにするために編集した。内容は小・中・高・大学・大学院での各教科や領域に対応したアカデミックなものを中心にまとめた。芸術、スポーツ、ビジネスにおける創造性教育については割愛した。著者はいずれもその国の創造性教育に通じた人たちである。この本が日本および世界の創造性教育の発展に寄与することを願っている。

< 編者 >

## 目次

はじめに	弓野憲一 (静岡大学)
1 章 日本の創造性教育	
1 日本の教育制度	弓野憲一 (静岡大学)
2 日本の創造性教育の動向	比嘉祐典 (東洋大学)
3 小学校における創造性教育	柏木公子 (東洋大学)
4 中・高校における創造性教育	平石徳己 (久留米信愛女学院短大)
5 大学・大学院における創造性教育	奥 正廣 (東京工科大学)
2 章 中国の創造性教育	徐方啓 (一橋大学)
3 章 台湾の創造性教育	梁 忠銘 (台東大学教育研究所)
4 (1) 幼稚園における創造性教育	翁 麗芳 (國立台北師範學院)
4 章 アメリカの創造性教育	
1 創造性教育研究についての短い歴史	弓野 憲一 (静岡大学)
2 小・中・高等学校における創造性教育	宗吉 秀樹 (NY 州立大学)
3 大学・大学院における創造性教育	香川 裕子 (NY 州立大学)
5 章 カナダの創造性教育	水畑 順作 (文部科学省)
6 章 イギリスの創造性教育	弓野憲一 (静岡大学)

7 創造性育成における教育の役割 —英国の経験を通して—

Marilyn Fryer (Creativity Centre)

(翻訳 弓野憲一 静岡大学)

7章 ドイツの創造性教育

Siegfried Preiser (フランクフルト大学)

(翻訳 矢野 淳 静岡大学 )

8章 フィンランドの起業家教育・創造性教育

弓野憲一 (静岡大学)

9章 ギフティド・エデュケーション

夏堀 睦 (都立大学)

10章 創造性育成の方法

1 深くて広い理解の促進方法

弓野憲一 (静岡大学)

2 KJ法・NM法

上西健治 (静岡産業大学非常勤講師)

3 概念地図法・参画授業

佐藤道子 (静岡大学大学院)

4 表現の創造性 (クリエイティブ・ライティング) 矢野 淳 (静岡大学)

おわりに

弓野憲一